

乗って守ろう！地域の公共交通



バス、鉄道、タクシーなどの公共交通の利用者は、自家用車の普及や過疎化などの進行により、年々減少しており、減便や廃止といったサービスの低下が懸念されます。本市では、代替タクシーや循環バスなど、地域の特性に応じた運行サービスを導入するとともに、公共交通機関の利用を促進する取り組みを行っています。みなさんが本市の取り組みについての理解を深め、運動にご協力いただけるようお知らせします。

問い合わせ先 本庁舎交通政策室 ☎ 0857-20-3257

公共交通機関に「ノルデー」

「鳥取市ノルデー運動」とは「バス、鉄道、タクシーなどの公共交通を、みんなが利用し守っていこう」という、市と市民との協働の取り組みです。公共交通の利用は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減や日常生活における健康増進などの効果も期待できます。

イベントへの参加や各種施設の利用の際は、パーク&ライドを実践し、まちなかでの移動に循環バスや片原駐車場のレンタサイクルを活用するなど、みなさんもこの運動への積極的な参加をお願いします。

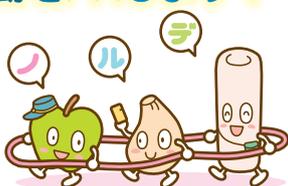
「エ」通勤しませんか

平成24年10月22日(月)～26日(金)と、11月26日(月)～30日(金)の2回に渡り、ノーマイカー通勤運動を実施します。ノルデー運動の中心となるこの運動への参加事業所を募集しています。期間中、通勤に路線バスを利用する参加事業所の職員は、市が発行する参加証を提示することで、特別運賃として片道200円、支線(南部地域)は100円で乗車することができます。

※運動への参加方法や実施方法など詳しくは、鳥取市公式ホームページをご覧ください。

「ノルデー」が運動をPRします！

平成24年5月11日から6月15日まで募集した「ノルデー運動」のPRキャラクターと名称が決定しました。応募総数37点の中から入賞した作品をご紹介します。



ノルデーズ
なしーの らっきよる トーフ・デ・チクワ

	名称	氏名
最優秀作	ノルデーズ	水口 香里さん(鳥取市)
	「なしーの」「らっきよる」「トーフ・デ・チクワ」	
優秀作	イクデ車掌	下田 恵美さん(八頭町)
	ノルデンデンくん	岡本 豊子さん(鳥取市)
	ノルデ三姉妹 「ノリ」「リン」「サイ」	西村 嘉野さん(鳥取市)
特別賞	ノルえもん	熊沢 環さん(岩美町)
	ローカルゴ	谷口 舞依さん(鳥取市)
	乗る丸くんと輪姫ちゃん	河上 琳さん(鳥取市)
	ノルデくん	鈴木 英里奈さん(鳥取市)



喜びの表情の水口さん

「初めて採用されてとてもうれしい」と語る水口さん。ノルデーズは運動のPRのほか、市が発行する印刷物などにも活用します。たくさんのご応募誠にありがとうございました。

南部地域の交通実証運行を行います

本市では、現状のバス路線を幹線と支線に再編し、タクシーや自転車などの交通手段と連携した新しい公共交通システムを導入するよう取り組んでいます。南部地域での実証運行は、各集落や鳥取市中心部への運行サービスを向上させ、サービスに必要な経費や住民のニーズを把握し、有効で持続可能な運行サービスを検討することを目的としています。

実施期間 平成24年10月1日(月)～1年間

概要

幹線：国道53号沿い鳥取駅から用瀬までの区間
支線：西郷線・散岐線・和奈見国英線・佐治線・江波赤波線

運賃

幹線：距離制運賃(現状の料金が基本)

支線：200円

※幹線と支線の乗り継ぎ：割引100円

評価の視点

- ①公共交通によって活動の機会を確保する人々が一定以上いるのか(必要性)。
- ②導入した乗合交通の運行方法やサービスが地域の状況にそくしているか(適切性)。
- ③利用者にとって使いやすいサービスか(有効性)。
- ④経費が過大ではないか(健全性)。
- ⑤今後もサービスを維持できるか(持続可能性)。

※南部地域新総合交通計画は、鳥取市公式ホームページに掲載していますのでご覧ください。



因幡の思い出は香りとともに

子どもの頃、毎年夏になると父に連れられ空港に向かった。今では日本の駅や空港はどこもかしこも無機質で同じ作りになってしまつて趣がないが、私が子どもの頃の名古屋駅や名古屋空港は、ヨーロッパの大都市にあるようなそれぞれの特徴があり、旅を終えた人を温かく包み込んで出迎えてくれる母親のような優しさ、不安な気持ちで旅立つ人を「必ず無事に帰ってくるんだぞ」と、そつと背中を押してくれる父親のような心強さがあった。ただ、あの左右に揺れる、ほどほどの大きさのプロペラ機に乗るとその安心感は一気に吹き飛んでしまう。鳥取に行く時はいつもそれだった。プロペラが回転し始めると、その振動がお尻から脳天まで駆け上がっていくあの感触は、「これは、いつか墜落するのだろう」という、子どもながらの覚悟とともに今でも鮮明に覚えている。

今から500数十年前、私ども志野流の流祖、志野宗信は東山文化のリーダー・足利義政の側近として活躍していた。その義政から命を受け、炷香たきかの作法や香木の選定など香道を体系化、以来今日まで唯一絶えることなく現代に継承し、現家元で20代を数えることとなった。また志野流は、



香道志野流 蜂谷宗苾

室町時代より20代500年に亘り香道を継承してきた志野流家元に生まれる。04年宗名「宗苾」を拜受し、21世家元継承者となる。世界各地での啓発活動の他、稀少となった香木を後世に残すため、ベトナムで植林活動に着手し、独自の「環境道」を掲げ、自然との後世を目指す講演活動も行う。

平成21年度文化庁海外文化交流使。フランス調香師協会名誉会員。

エンジン01オープンカレッジinでは、「香りの道は、深いのだ!」、「スポーツをもっと楽しく!」を担当。夜楽にも参加いただきました。

シリーズ

ぼうけん 望見 ~鳥取市を想う~

エンジン01 オープンカレッジ in 鳥取の開催にご協力をいただいた講師のみなさまから寄せていただいた、鳥取市へのメッセージを紹介いたします。

☎ 本庁舎広報室 ☎ 0857-20-3159

当初より茶道の家元を兼ねている。

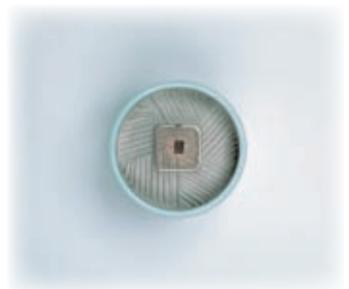
その志野流の茶道を鳥取藩の支藩鳥取東館の池田仲雅が嗜み、茶頭として大谷平奉弘を迎えたことから、志野流の茶道が因幡地方に伝来し今日まで続くことになる。実際、江戸時代の門人一覧を見てみると身分は貴族、僧侶、武士、町人、更に一部農民にまで増大していき、鳥取を含め東北から九州まで広がっていった。

先般、数年振りに鳥取に行き、お弟子さん等と楽しく会食した。自分が30歳年を食えば、当然お弟子さん等もみんなその数だけ年を食う。それでも、あの時可愛がってくれたお弟子さんが今でも一生懸命、家元から遠く離れた鳥取の地で伝統を引き継いでくれてる事に心から感謝するとともに、みんなと一緒にあって、この混沌とし、心が疲弊してしまつた日本の深い闇を、文化の心で一掃する事が、この時代に生まれ私たちの責任だと考えている。

蜂谷宗苾／香道志野流二十一家元継承者



エンジン01 オープンカレッジin鳥取 香りの道は、深いのだ! 香道ワークショップ より



灰形と香木